

平成30年3月1日
中村河川国道事務所

おおがた

一般国道56号大方改良が平成30年度に全線開通します

～安全・安心の確保、救急・復旧活動を支援～

～ 開通により期待される効果 ～

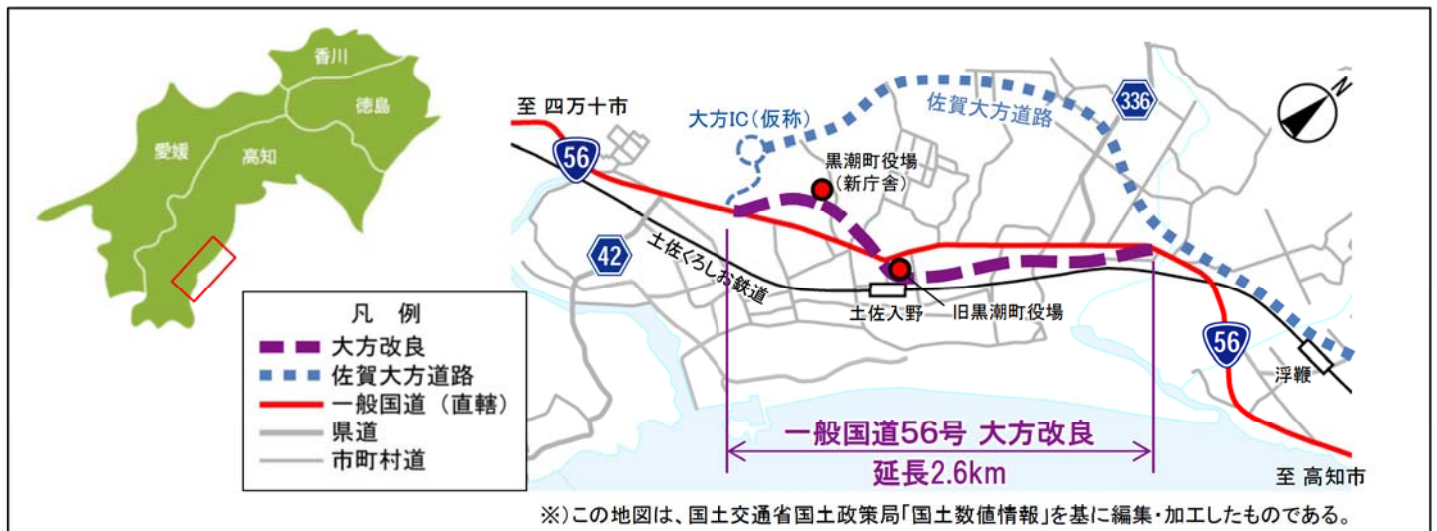
効果①: 歩行者や自転車利用者の安全・安心を確保

- ・大方改良の整備により、歩行者や自転車利用者の安全・安心な通行空間を確保。

効果②: 地震時の避難、被災後の救援・復旧活動を支援

- ・黒潮町が高台に整備した防災拠点と相まって、周辺住民の避難及び被災後の迅速な救援・復旧活動を支援。

※工事進捗を踏まえ完成に向けた円滑な事業実施環境が整ったことから、開通予定を公表します。



※ 本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」及び「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた『資国』産業競争力強化プロジェクト」等の取組に該当します。

お問い合わせ先 (○: 主な問い合わせ先)

国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所 電話0880-34-7301 (代表)

副所長 川崎 光洋 (かわさき こうひろ)

○調査課長 小竹 良 (こたけ りょう)

一般国道56号 大方改良の概要

【事業の目的】

- 道路幅員が狭く、歩道が整備されていない現国道の課題を解消し、歩行者や自転車利用者の安全・安心の確保を目的とする道路。
- また、防災拠点として黒潮町が整備した黒潮町役場新庁舎等と相まって、南海トラフ巨大地震時の地域住民の避難や、被災後の迅速な救援・復旧活動を支援。

<位置図>



<平面図>

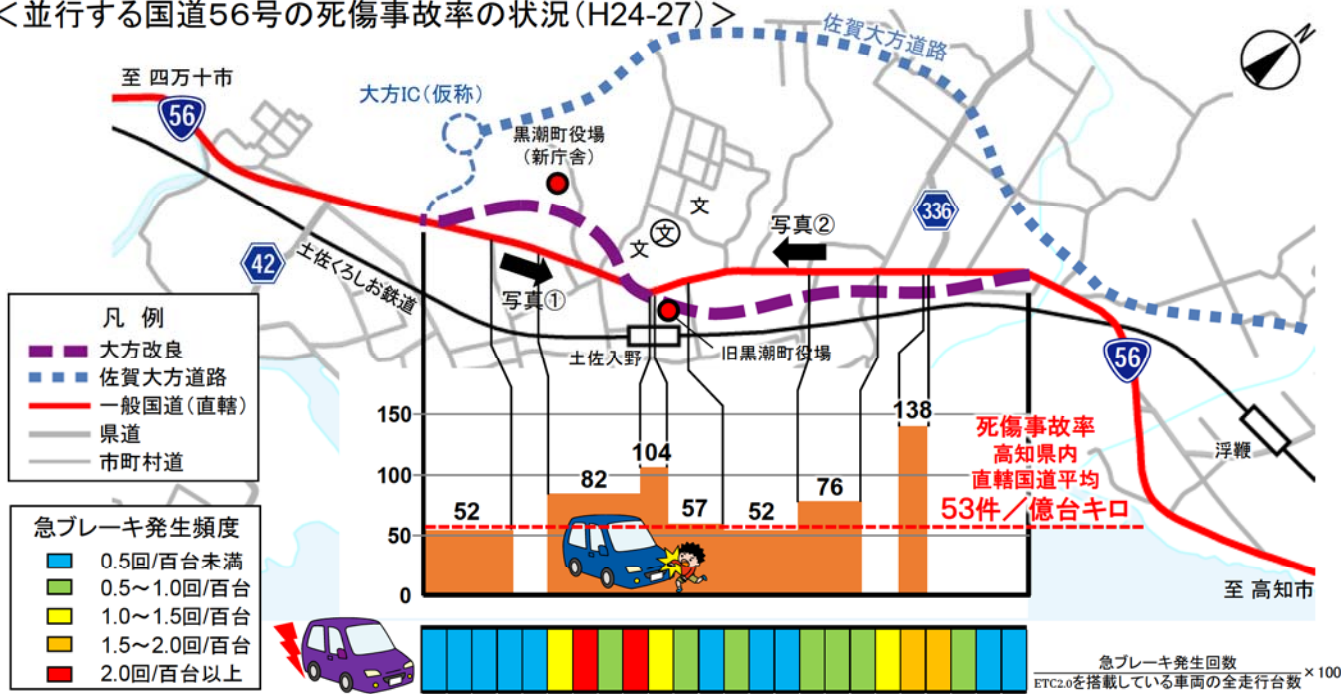


※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものである。

【効果①】：歩行者や自転車利用者の安全・安心を確保

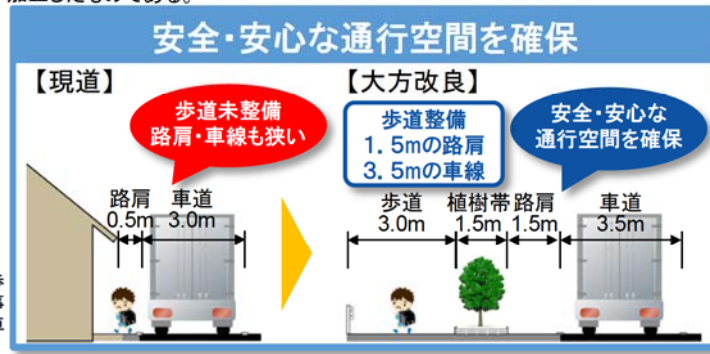
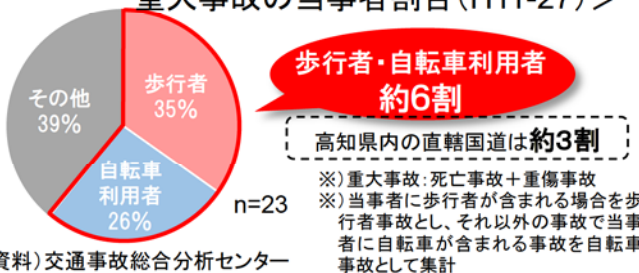
- 並行する国道56号は歩道が整備されておらず、歩行者や自転車利用者にとって非常に危険な状況。
- 大方改良の整備により、安全・安心な通行空間を確保。

＜並行する国道56号の死傷事故率の状況(H24-27)＞



資料) 死傷事故率: 交通事故総合分析センター、急ブレーキ発生頻度: ETC2.0プローブ情報(H28.12-H29.11)において、評価期間中の急ブレーキ(-0.3G以下)発生回数を百台あたりに換算
※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものである。

＜並行する国道56号で発生した重大事故の当事者割合(H11-27)＞



＜並行する国道56号の危険な状況＞



【写真①】現道を通行する高齢者の様子



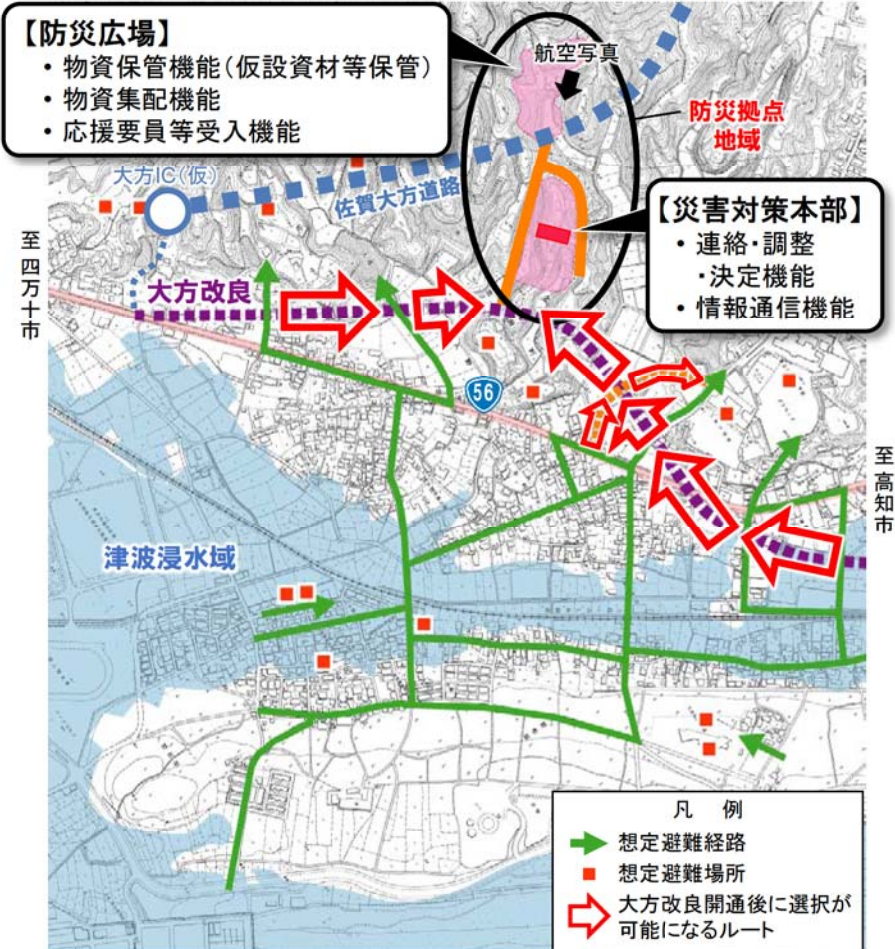
【写真②】歩道未整備区間を通学する児童

【効果②：地震時の避難、被災後の救援・復旧活動を支援】

○南海トラフ巨大地震により、黒潮町では大津波の襲来が想定されている。

○黒潮町が高台に整備した防災拠点と相まって、周辺住民の避難及び被災後の迅速な救援・復旧活動を支援。

▼住民意向ヒアリングによる想定避難場所及び避難ルート



▼災害対策本部(黒潮町新庁舎)周辺の状況(H30.1撮影)



▼H24.6避難訓練の様子



▼H26.10避難訓練の様子



出典)津波浸水域 L1(発生頻度の高い一定程度の地震・津波)
 :【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について(H24.12.10公表)
 避難経路・避難拠点:黒潮町提供
 ※)この地図は黒潮町が作成した図を基に加工したものである